

シャープ「適温蓄冷材」

シャープの適温蓄冷材とは？

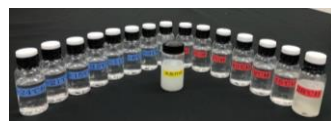
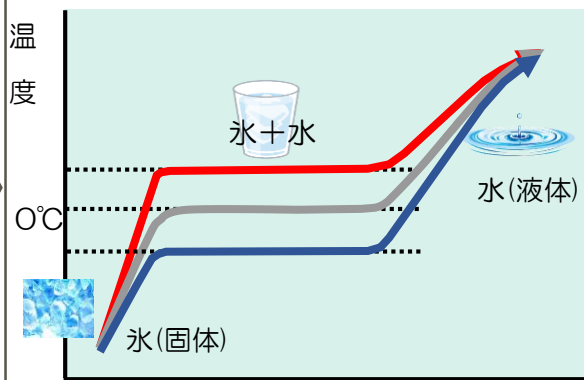
液晶が、
真冬のスキー場でも固体化せず、
真夏の海岸でも液体化しない
ようにする技術

(液晶=固体と液体の中間の状態)



転用

さまざまな温度で融け始める水
「蓄冷材」



時間
-24°Cから28°C
の間で
10種類以上開発

蓄冷材が融ける温度と凍る温度をコントロール

10°Cまで融けない「適温蓄冷材」

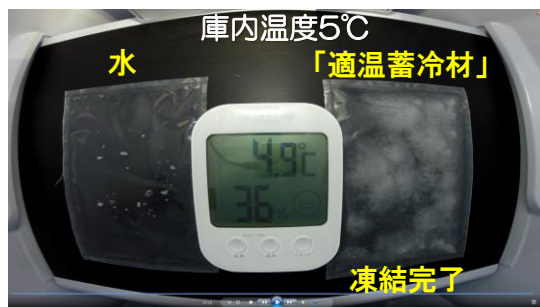


庫内温度8°Cの環境で、氷は融けて水になりますが、
10°Cの「適温蓄冷材」は氷のままです。

5°Cで凍る「適温蓄冷材」



庫内温度5°Cの環境で、10°Cの「適温蓄冷材」は
凍り始めます。



庫内温度5°Cの環境で、水は変化しませんが、
10°Cの「適温蓄冷材」は凍結します。